

つながりの中でくらす  
望まれた人として生きる  
自分らしく生きていく



No. 7

2006年1月発行

昨年はお世話になりありがとうございました。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年がみなさまにとってよい年となりますように！

### 障害児地域生活支援

2005年10月22、23日に旭区の大阪市立城北市民学習センターにて、「しろきた秋まつり」が行なわれました。城北市民学習センターの利用グループがさまざまな催しを行いました。「ほうぷ」も参加し、「障害をもつ子ども達の音楽広場」と「障害児の親が元気になるワークショップ」を開催しました。

## 1. 障害をもつ子ども達の音楽広場

2005年10月23日(土) 14:00~16:00

大阪市立城北市民学習センター スタジオ

参加者 20名(大人 5名、子ども 15名 うち障害児8名)  
ボランティア 26名(学生 24名、社会人 2名)

大学で音楽療法を専攻している学生さん達を中心に企画・運営をしていただきました。当方の準備説明不足で学生さんにも参加者にもご迷惑をおかけしましたが、多数の参加があり、歌ったり身体を動かしたりと元気いっぱいの活動となりました。皆さんありがとうございました。

### 大人の参加者の感想から

- ・めずらしい楽器がいろいろあってすごく楽しかった。
- ・音楽療法というものがよくわかっていないので、知りたくて来た。療法というより、個々を受容している姿勢が好感持てた。(注:「音楽療法」のイベントではありません・ほうぷ)
- ・子どもにとって新しい空間ができたことを大変うれしく思う。

## ボランティアの感想から

楽しかった

20名

- ・みんなが楽しんでくれているようすが伝わってきたので。
- ・最初は、あまり楽しんでいないような子どもも、最後は楽しそうな顔をしていてうれしかった。

あまり楽しくなかった

6名

- ・かなり不十分なままで活動に臨んでしまった。
- ・どう接していいか戸惑った。



- ・子どもさんと接する機会が普段ないので、とてもいい経験になったし、とてもうれしかった。手をつないだり、膝に座ってくれたり、話しかけてくれたりしたことで、私自身が何か得られたように思う。
- ・子どもの元気に圧倒された。企画しているようすや大変さ、工夫がわかってよい経験になった。
- ・もっとみんなと仲良くなれたらよかった。これからって感じ。もっとみんなを見ていきたいと思った。
- ・もう少し積極的に子ども達に近づいて接したかった。
- ・最初はどんな感じでやると良いのか悩んで迷って不安だったが、子どもと出会ってみて、自然と笑顔になれたし、楽しくできた。本当に元気の良い子達で発想が自由ですごく面白かった。
- ・もっと事前に時間をいただくべきだった。もっと一人ひとりの子どもを一番に考える活動をすべきだった。でも楽しかった。また1つ勉強になった。
- ・久しぶりに子どもと接することができ楽しかった。今、保育士の勉強をしているので、がんばろうと思った。
- ・はじめは私達がやっている側で子ども達がしてもらおう側という立場だったので、あまりなじめていなかったが、一緒に楽しむということをしたら、素直に輪に溶け込めたのかなと思った。
- ・初めて子どもとのかかわりが持てるボランティアだったので、とても貴重な体験ができた。また、子どもとどのように接すればいいか、少しだけ理解できた気がする。

## ボランティアを行なう上で学生さん達が気がつけたこと

子どもの目を見るようにした。目を見ればその子が楽しんでいるのか、面白く思っているのかわかる。視線を合わせるようにした。早く親しくなれるよう、無邪気に接した。

無理に音楽をさせないようにした。絵を見せてくれた子もいてうれしかった。

不愉快な気分にならないよう笑顔を忘れず、子どもと一緒に楽しめる雰囲気を作った。

## 保護者から学生さんへのメッセージ

- ・たくさんの学生、若い方が、たくさん子ども達に接して行ってもらえれば、子ども達が受容される世界が広がるし、子ども達もいつもと違う場面があってうれしいと思います。
- ・ピアノが皆さんお上手で、「はい」の返事をして、子ども達と上手に関わって、綺麗な声で楽しかった。
- ・子どもがふだんと変わらない笑顔で楽しんでいました。
- ・子どもが元気に学生さんを追いかけていたようすを伺った。引っ込み思案な子だが、迎えに行くと汗までかいて嬉しそうな顔をしていた。とても楽しい時間を過ごさせていただきありがとうございました。
- ・姉「行ってよかった〜」。弟は前半機嫌が悪いのを引きずっていたが、最後は参加できたようです。「楽しかった？」と聞くと、「たのしかった〜」と答えていました。
- ・J:「めっさ、楽しかった」 母:「何が一番楽しかった？」 H:「さんぽ」 J:「ぜえーんぶ」「おれ、たいこ見たかってん」。めっちゃめちゃ良かったらしいです。

## 2.障害児の親が元気になるワークショップ

2005年10月23日(土) 14:00~16:00

大阪市立城北市民学習センター アトリエ

参加者 9名

最初に「デートゲーム」で自己紹介をしあいました。次に全員で「障害」「自立」について意見を述べ合いました。自己紹介ゲームに時間がかかってしまい、それぞれの思いを十分に深め合うことはできませんでしたが、出会いの場、他の保護者の思いを聴く場となりました。

### 参加者の感想から

- ・障害は違っても子育ての悩みは同じだと感じた。それぞれが、壁にぶつかったり、前に進めなくなっても前向きにがんばっていると思った。
- ・少人数だったので、和んだ話し合いでいい時間を過ごせた。
- ・もっと皆さんの意見が聞きたかった。時間が短かった。
- ・あっという間に「デート」(自己紹介ゲーム)、「障害」のこと、「自立」のことと終わってしまった。時間切れで時間が少なすぎると感じた。特に私も(多分他の人も)子どもの障害がどんなようすで、少しでも他の方の話から参考になる情報が欲しいと思っている中、知り合いになるだけの「デート」ではなく、もう少し掘り下げて話ができる良かったなあと感じた。 ・お知り合いが増えた。時間が足りないよ〜。
- ・いろんな生活があって大変だなあと思った。自分は自分の生活を楽しくていくなかった。そうやって「障害」をけっとばせればうれしいな。
- ・「3人寄れば文殊の知恵」じゃないですが、色々な方の話を聞くことで勉強になった。
- ・「障害」とは、「自立」とは、あまり話しをしたことがなかったので良かった。
- ・いろんな人の話が聞けてよかった。自分の意見が思うように話せず残念だった。

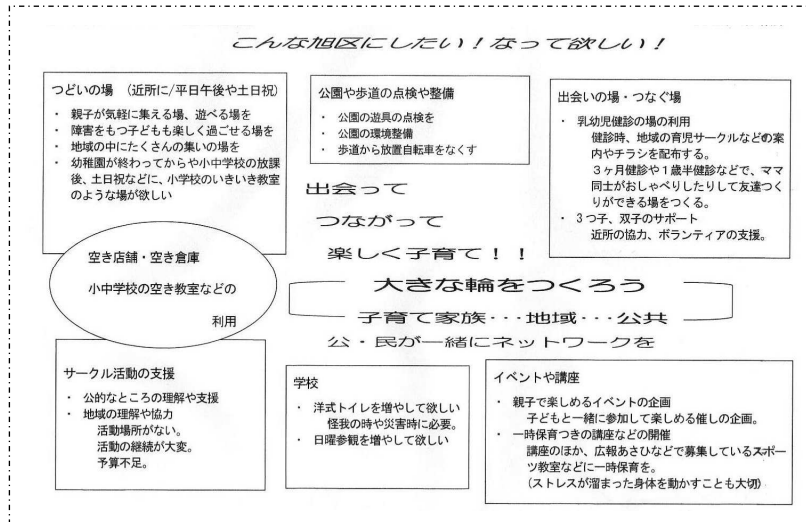
## 今後、保護者が希望するイベント

- ・ 音楽や踊りが楽しいようだ。
- ・ 内容はともかく、消化不良にならないように2～3回続くようなセミナー。
- ・ 身体を動かせるダンス、リトミックなど
- ・ いろいろな子ども達と一緒にのびのび活動できるイベント
- ・ 保護者交流会：2人希望（もう少し長い時間で、情報交換したい。子どもの進路をどうするか考えている。）



## 活動報告 & 今後の予定

- **セルフヘルプグループ支援**：『脳血管障害者・あさひの会』は、毎月定例会を行なっていますが、12/7に清水の牧病院にて初の出張例会を開催しました。新会員が増えることを願っています。
- **ネットワーク支援**：『子育てネットワーク・きしゃぼっぽ』は、10/17、11/7、12/5に例会を行ない活発な意見交換をして以下を「アクションプランを一緒につくろう会」に提出。



- **旭区アクションプランへの参画**：旭区「アクションプランを一緒につくろう会」や「策定ワーキングチーム」に参加し、話し合いを進めています。10/15、1/14「和んで座談会」開催協力。
- **不登校児支援**：「あさひ不登校ねっと」は、旭区地域保健福祉課、旭区社会福祉協議会、両国青少年会館、生江青少年会館、生江人権協会、不登校児の親の会「サークル虹」、NPO 法人淡路プラッツが参加して毎月話し合いをしています。1/21（土）14:00～17:00「パネルディスカッション・なぜ不登校はあり続けるのか～支援制度の上手な使い方」（両国青少年会館と共催）。2/4（土）13:30～16:00「親ってなに？子育てってなに？」を開催。
- **障害児支援**：ピア大阪主催「障害のある子の親のピア・カウンセリング講座」の企画参加、及び、受講（3日間）。ピア・カウンセリング（仲間同士によるカウンセリング）について学び考えてきました。1/21、28、2/4 城北市民学習センター主催の講座において、一時保育に協力。ほうぶスタッフが中心になり、学生、地域ボランティアと共に活動します。
- **その他**：11/25 子育てボランティア講座（旭区社協、旭子育て支援センター、トモノス旭主催）、12/9 いきいき放課後事業嘱託指導員研修、12/12 旭区役所職員の人権研修等の講師。新聞等取材掲載（読売新聞12/6朝刊、(社)子ども情報研究センター発行「はらっば」2006.1）。





みなさんも食べ物の好き嫌いがあると思いますが、私の場合は鶏肉！小さい頃は、鳥のもも肉にかぶりついていた記憶があるのですが、いつのまにか食べられなくなっていました。ところが、45歳になった今ごろ、その鶏肉が食べられるように・・・

去年の11月25日から、全国同和・人権教育研究会（以下、全同教）参加のため、宮崎に行きました。宮崎といえば宮崎地鶏が有名ですよね。食事に行くのは鳥専門店ばかり。プライベートではなく仕事の関係者と一緒だったのでワガママを言えず、宮崎名物「チキン南蛮」をひとくち。ん？。。おいしい！次の日は、自らチキン南蛮専門店に出かけていきました。しかし、この宮崎大会で克服したのは、鶏肉だけではなく、「語る」ということもありました。

全同教大会は、毎年全国から人権教育・同和教育を実践する教員・地域の方が集まり、実践報告や思いを語る場で、2万人規模の参加があります。例年勤務校の報告があり、人権教育担当者として公の発言が要求されましたが、今回は報告もなく、一参加者として、地味に聞いておこうと思っていました。

でも参加した分科会の中で「相手が自らを差し出した時、あなたは何を差し出しますか」という問いに、気がついたら挙手している自分がいました。厳しい生活の中で学習権を奪われた親の生い立ちのこと、その親の思いに気づいたこと、差別は今なおそこにあることを見ず知らずの人の前で語っていました。全同教の熱がそうさせた事もあります。その場にいる人たちが人権教育にとりくんでいる、受けとめてもらえるという気持ちがあったのだと思います。

何か課題を抱えている人は、その課題に無理解、あるいは関心がない人たちばかりの場で、そのことを語ることはむずかしいと思います。大人でも子どもでも同じでしょう。私は教員ですが、そういう意味で自らを開示できるような集団づくり、その地道な営みをすすめていきたいと思います。私自身もこれからの人権教育を担う若い人たちに自らを「語る」ことで、小さな一歩をすすめたい、あなたも一歩近づいてほしいと、残された教員生活をそのことを目標にすすみたいと思います。



宮崎名物「チキン南蛮」。

あげた鶏肉を甘酢にくぐらせ、タルタルソースでいただく。その発祥の店でのショット。

その後、大阪であの味を求めています。なかなかありません。おいしい「チキン南蛮」の情報があれば、教えてください！！

## ●おしらせ●

“地域生活サポートネットほうぶ”の事業年度は、1月1日から12月31日でしたが、今年から4月1日から翌3月31日に変更を致しました。よろしくお願いいたします。

### (編集後記)

☆事情があって、急遽引っ越し事になりました。今の家に住んでまる3年。引っ越してきた時はトラック1台で悠々運べた荷物が、たった3年でこんなに増えるとは。できるだけ減らしたいと思い、「これ捨ててもいい？」と、小4の娘に聞くと「だめ、思い出だから」・・・いつになったら片付くのやら。。。 (N)

☆盆と正月前後に近隣の母達が数名集まって我が家で飲み会をする。今年も正月明けに集まった。家事を終えてやって来て、飲んでしゃべってストレスを解消して、日が変わる頃に帰っていく。小学校高学年から中学生の親たちである。同じ保育所で過ごした子どもの親が中心で、ほとんどが障害児の親たちだ。保育所時代は将来のことなど見えなかったが、このつながりが学校や社会を切り開いていくのかもしれない。 (M)